

児童朝会 校長の話 1月17日

この雪景色はどこの写真だと思いますか。これは浅草小学校の校庭です。1月6日に学校に来たらお昼前から雪が降り出して、午後3時ごろにはこのように校庭が真っ白になり、桜の木にも降り積もって真っ白になりました。この日は東京都内にも雪が降り積りましたね。



雪の結晶を見たことありますか。これは雪の結晶の写真です。美しいですね。世界で初めて、人工的に雪の結晶を作ったのは日本人だということを知っていますか。昭和11年、北海道大学に勤めていた中谷宇吉郎さんという研究者が作りました。



中谷さんは昭和6年、北海道大学の校舎の廊下に顕微鏡を置いて、空から降ってくる雪の結晶を観察しました。そしてその美しさに感動しました。この写



真がその時の雪の結晶の写真です。翌年、雪の結晶の観察をするために、中谷さんは十勝岳の標高1000mのところにある小屋に入りました。そして3000点にも及ぶ雪の結晶の写真撮って、種類を分類しました。その分類は、今でも天然雪の結晶の分類の国際基準になっています。



昭和10年、北海道大学にマイナス50度まで温度を下げられる低温実験室を作りました。そして自分の手で雪の結晶を作る研究を始めました。防寒服を着て、細かくて繊細な結晶の実験することはとても大変で

した。何度も失敗を重ねましたが、ウサギのおなかの柔らかい毛を実験機の中につるさげ、先にこぶを作ってみると、そのこぶに結晶が付きました。昭和11年、ついに雪の結晶を作ることになりました。この知らせは世界中にラジオや雑誌で伝えられました。中谷さんは700種類に及ぶ結晶を作りました。



これは雪の結晶のデザインです。様々な形があって、どれも六角形をしていますね。水の分子は結晶になるとき六角形につながる性質があるので雪の結晶は六角形をしているそうです。また、東京に雪が降るかもしれませんね。そうしたら雪の結晶が見られるといいですね。

今週は書き初め展が開かれます。皆さんが一生懸命書いた書き初めが廊下に張り出されます。どんな思いで一字一字書いたのか想像しながら、じっくり鑑賞しましょう。